

WEEKDAY CAMPUS VISIT 開催レポート（開催日 H28.11.23）

東京都市大学人間科学部児童学科では、11月23日に Weekday Campus Visit (WCV) を NPO 法人 NEWVERY と共同で実施しました。高校生がフダン着の東京都市大学に会いに来てくれました。

■当日のスケジュール

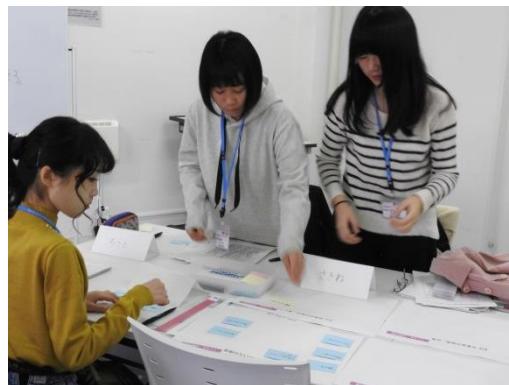
- 9:30～ 9:50 ガイダンス
- 10:50～12:30 2限目を受講 「保育・教職実践演習」
- 12:30～13:20 学生食堂で昼食
- 13:20～15:00 3限目を受講「子どもの保健（2）」
- 15:10～16:30 振り返りワーク

～ガイダンス～

まずは、今日1日のスタートとして、ガイダンスを受講。ガイダンスでは、今日のスケジュールと受講科目を確認。その後、グループごとに模造紙と付箋を使って、大学と学部に対するイメージを書き出しました。メンバーそれぞれのイメージを共有すると徐々に、大学で学ぶイメージが膨らんでいきますね。コーディネーターから今日の目的である「東京都市大学の特徴を読み解くこと」と「高校生と大学生の違いを理解すること」が伝えられ、期待と不安が入り交じる中、課題シートを持っていざ授業の教室へ移動。



ガイダンスの様子



ガイダンスの様子

～2限目の授業を受講～

2限目の授業は、「保育・教職実践演習」。今回は、実際の保育現場で働いている保育士が教壇に立ち、巨大スクリーンに映像を投影して授業が展開されました。園児が保育園で過ごしている映像を使って、現場の実情や子どもの行動や特徴を解説していました。実際に現場に携わっている保育士から現場の内容を直接学生に伝えられると、高校生は大学で学ぶ内容は、社会と密接に関わっていることを感じた様子でした。受講後、「社会問題について向き合っていけるような人材になれる」と将来像を描いている高校生もいました。また、周りの大学生は、実習を終えた学生ばかりでしたので、実習内容を直接聞けるのも勉強になりますね。高校生は、学んだ内容を自分なりに懸命にメモをとっていました。

2限目終了後には、普段大学生が利用している学生食堂を利用し、高校とはまた違った雰囲気の中、ランチタイムを過ごしていました。



保育・教職実践演習



保育・教職実践演習



保育・教職実践演習



学生食堂でランチタイム

～3限目の授業を受講～

3限目の授業「子どもの保健（2）」では、子どもの心と身体のしくみと、その健康増進について授業が行われました。今回は、保育園内のマップを用いて、園内で子どもが過ごすうえで、危険な箇所やより工夫した方がよい箇所を大学生とともに考え、その気づいたことを発表していました。大勢の中、自分の意見を人前で話すことは緊張しますが大学生として必要なことですね。ワークを通じて、子どもの健康について理解した高校生は、将来保育士・幼稚園教諭として働くときにその重要性を理解した様子でした。実際に授業を受けた後は、「楽しむだけでなく、健康や安全に気をつけられる保育士」になりたい。また、「親や子どもの暮らす環境を考えられる人」になりたいと自分の将来について語っていました。



子どもの保健（2）



子どもの保健（2）

～振り返りワーク～

2コマ合計200分の授業を受けた学生は、再びガイダンス会場に戻り、それぞれ感じたことをグループで共有。感じたことを自分の言葉で相手に説明することは、振り返りワークとして大切であり、進学目的が明確になってきますね。実際に大学の授業を受けてみると、「大学の授業はもっと難しいものかと思ってた」、「思っていたより楽しく、子どもに向けての目線が少し変わりました」など、高校とは違う点をたくさん発見し、今後の大学選びにおいて貴重な1日となった様子でした。



振り返りワークの様子



振り返りワークの様子